

「公開可」
2024年8月1日



代表取締役社長 仮屋 学様 略歴

1963年
鹿児島県生まれ

1982年4月
ソニー国分セミコンダクタ株式会社入社
(現 ソニーセミコンダクタマニュファクチャ
リング株式会社)
以降、熊本テクノロジーセンター後工程、
前工程の製造統括部長、鹿児島テクノロジー
センター製造部門長、白石蔵王テクノロジー
センターTEC長を経験

2024年7月
株式会社フジワークセミコンダクタエンジ
ニアリング 代表取締役社長 就任



株式会社フジワークセミコンダクタ
エンジニアリング

◆インタビュー

2024年3月に設立し、7月1日に代表取締役
へ就任したばかりの「株式会社フジワークセ
ミコンダクタエンジニアリング」仮屋社長へ、
これからの挑戦についてお話を伺った。

Q：まずは、会社概要について教えてください。

A：現在、半導体は国家的にも重要な位置
付けになってます。自働化やAI化が進む中
ですが、半導体エンジニアのニーズは高ま
る一方です。我々は、半導体に特化した
ハード・ソフトのエンジニア派遣として、
高いスキルを持った人材発掘・育成を進め
ていきます。



Q：会社のミッションを教えてください。

A：半導体産業と人材の架け橋となり、お客
様の期待を超える価値を創り出すことが我々
のミッションです。働くメンバを夢中にし、
やりがいを提供することで、皆で目標実現を
目指したいと思っています。

Q：営業戦略について教えてください。

A：新会社としてスタートしたばかりですの
で、まずはスモールスタートでお客様の信頼
を勝ち取ります。その流れで認知度をあげな
がら拡大していきたいと考えています。

Q：他社との差別化はどこにあるとお考えですか？

A：定着率の安定を強みにしたいと考えています。個々の人生感としても働き方は様々です。転職に対してハードルは低くなってきています。そういう状況ですから、半導体経験豊富なチームで、働く仲間との密な連携で他社ができない定着率の安定化を目指したいと考えています。

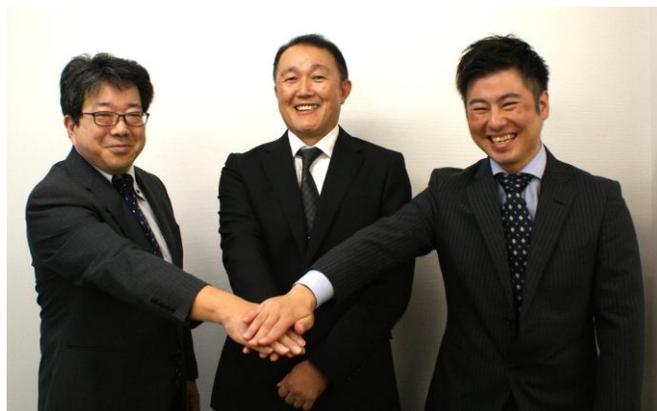


左から 隈崎様、仮屋社長、宇佐美様

◆インタビューを終えて

半導体製造に関する注目が集まるなか、長年、半導体製造分野においてグローバルに活躍する大手メーカー様を中心に製造請負事業、派遣事業で実績のあるフジワークにて、これまでの経験を活かし新しい分野に挑戦する仮屋社長。フジワークのものづくり力、ひとづくり力、組織力との相乗効果でどのような問題にも取り組んでいく力強さを感じられた。

(記:採用部 東京本社採用課 平瀬)



Q：採用戦略についてはどのようにお考えでしょうか？

A：ニーズを考えると、ターゲットは経験者採用です。経験者としては、過去の人脈からのダイレクトリクルートと産業雇用安定センター含む広告とかの求人採用の合わせ技で獲得を目指します。熊本は非常に厳しい採用環境ですが、採用メンバーの経験年数・スキルから育成・配属を柔軟に対応していきたいと考えています。

Q：最後に、改めてフジワークセミコンダクタエンジニアリングをどんな会社になりたいか教えてください。

A：純粋に「楽しい!」と感じられる会社になりたいですね。個の時代だからこそ、これからは人と人とのつながりが大切になります。一緒に働く仲間には、やりがいを感じられる仕事に出会い、失敗を恐れず常にチャレンジを続けることで、豊かな人生を送って欲しいと思っています。メンバー一丸となって、挑戦と進化を続けていきたいと考えています。

◆会社データ

所在地 熊本県熊本市北区武蔵ヶ丘
1丁目6-93 プラッサHIKARI 1F
設立 2024年3月1日
代表者 代表取締役社長 仮屋 学
事業内容 半導体エンジニアに特化した
人材サービス事業

FUJI WORK
SEMICONDUCTOR
ENGINEERING